

指導資料

 鹿児島県総合教育センター
平成29年10月発行

外国語 第84号

対象
校種

中学校 義務教育学校
高等学校 特別支援学校

技能の統合的活用を目指したリテリングの授業実践 ー協働的な学習を通してー

「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能の総合的な指導を通して、これらの4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成する必要がある。そこで、読んだ内容をまとめ、自分の言葉で表現するリテリングの実践例を紹介する。

1 リテリングとは

リテリングとは、読んだ内容を自分の言葉で話す活動で、英語を理解する能力と表現する能力が求められる。これは母語でも日常的に行う活動であるが、英語で行うとなると容易ではない。

そこで、英語でリテリングを効果的に行うためには、まず、情報を発信するための英語表現を取り込めるよう、内容理解した本文を繰り返し音読する必要がある。そして、本文で使われている表現や自分が既に知っている表現を使って発信できるよう、段階的に高めていくことが大切である。

2 リテリングの必要性

『高等学校学習指導要領解説外国語編・英語編』のコミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの「内容の取扱い」には、以下のように示されている。

中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら、四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導するものとする。(下線は著者による)

また、「平成27年度英語力調査結果（高校3年生）の速報（概要）」においては、以下のように報告されている。

- 依然として4技能全てにおいて課題がある。前年度同様に、特に「話すこと」「書くこと」について課題が大きい。
- 「書くこと」のテストスコアが高いほど、授業において「聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思う」と回答する生徒の割合が高い。

さらに、「平成28年度英語教育改善のための英語力調査事業（中学校）」では、読むことに関する指導改善のポイントとして、「読んで終わりではなく、理解したことを基に話したり書いたりする活動を行う。」と示されている。

これらの報告からは、読んだ内容について話したり書いたりするなど、技能を統合的に活用させる活動を授業の中に積極的に取り入れる必要があることが分かる。

そこで、本稿ではそのような活動の一つとして、リテリングについて紹介する。

3 リテリングに向けた音読指導

リテリングを行う前に、読んで理解した英文を感情を込めて繰り返し音読し、使える表現を増やしたり、内容の理解度を高めたりする必要がある。その際、音読が単調にならないよう、下記のいずれかを組み合わせながら行うと効果的である。

- ア Chorus Reading 一斉読み
- イ Buzz Reading 個人読み
- ウ Overlapping かぶせ読み
- エ Shadowing 復唱読み
- オ Blank Reading 虫食い読み

4 リテリングの手順

内容理解及び音読で使える表現が増えたら、以下の手順でリテリングを行う。

(1) 語句やイラストの提示

教師が、リテリングの手掛かりとなるイラストや語句を提示する。提示する語句は、内容に関する英問英答の答えとすれば、生徒が英語を聞いたり話したりする機会が増える。提示はまず文で（図1）、リテリングに慣れてくれば語句や語で（図2）、最終的にイラストだけ提示（図3）したり、何も提示せずに行ったりするなど、生徒の発達の段階に応じて変える。

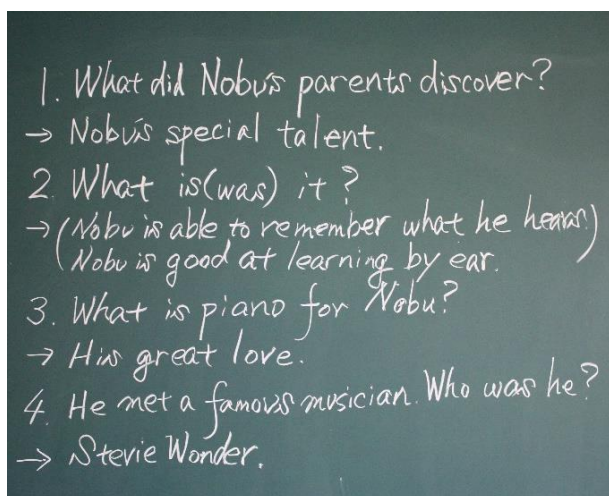


図1 英文の提示例

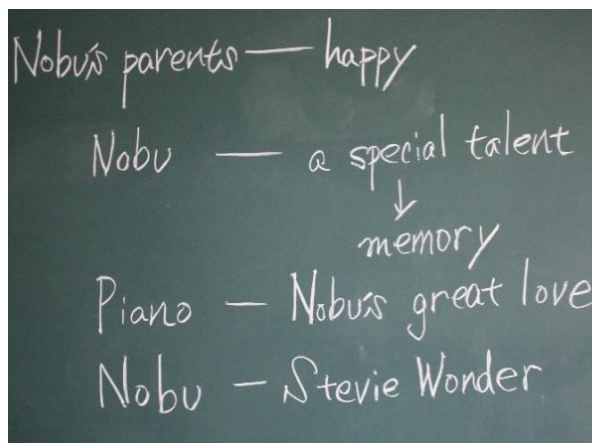


図2 語句の提示例



図3 イラストの提示例

(2) リテリングに向けた協働的学習

リテリングを行う内容を各自で書いた後に、4～5人のグループを作り、書いた作品を交換してお互いの作文を読むと、より効果的にリテリングを行うことができる。この活動を通して、自分が書いた作文の内容に不足していた点や表現の誤りに気付くことができる。原稿が完成した後は、ペアで練習をすることを何度も重ねると、表現の定着や流暢さ、正確性が一層高まり、4技能の更なる向上が期待できる。これらの活動は、生徒の学力やレッスンの全体計画等を考慮しながら、取り入れていきたい。

(3) 全体発表

クラス全体で、代表者に発表をさせ、他の生徒にモデルを示したり、改善点を共有したりすることは、リテリングの正確性を高める上で有効である。例えば、文法的な間違いが含まれている場合は、内容を確認しながら正しい言い方を教師が示し、間違いに気付かせ

ることもできる。慣れてくれば、テキストの内容の言及以外に、自分の意見や感想を加えさせることもできる。生徒はお互いの考えなどを知ることができ、事実や意見などを多様な観点から考察する力を養うことや、共に学ぶという情意面でのよい働き掛けにもなる。生徒は、リテリングを通して自分が表現した

いことを正しく表現できないことに気付くと、改めて教科書の表現の定着に努めたり、内容を深く理解したりしようとする。また、生徒がリテリングで書いた作品を添削することで、生徒の文法上の誤りや内容面の理解度を正確に把握し、個別指導に役立てることができる。

5 リテリングを通して技能を統合的に活用させる実践例

(1) リテリング後の英作文と添削例

図2の語句を提示した後の作文例は以下のとおりである。リテリングはあくまでも話すことを中心として行ってよいが、書くことも併せて指導して、内容の理解度や書く力も確認したい。

時制や自動詞・他動詞の用法の誤り等は見落とさず指摘する。繰り返し指摘されることで、時制や自動詞・他動詞の判断等が習慣化される。また、「時制の判断」の意識が身に付けば、動詞の活用 of の大切さも実感できるようになる。

内容面についても理解度を確認し、コメントを書く。この例のように、内容理解と文法どちらが要因で間違えた作文になったか分からない場合は、生徒に確認する。

図4 英作文指導例（県立加治木高等学校先間竜也教諭の実践例）

(2) 指導案（例）

リテリングの取組の方法や頻度については、各学校の生徒の実態により判断することが大切である。授業のまとめ又は前時の復習としてリテリングを行い、本文の内容理解をより深いものとしたい。前時のまとめとして行う場合は、予め自宅で書かせることで、時間を有効に使うことができる。ここでは、リテリングを毎時間（パート毎に5時間）行い、本文の学習終了後に、題材に関するテーマでディス

カッションも行った実践例について、レッスンの全体計画と第5時のレッスンプランを紹介する。本実践例のように毎時間行うことで、英語で表現することへの抵抗が少なくなると同時に読んだ内容について、まとめたり整理したりすることにも慣れてくる。また、本文の内容理解が十分できているので、題材に関するディスカッション等へもスムーズにつなぐことができる。

Lesson Allotment:

Period	Main aim	Notes
1	To grasp the whole story	Scanning and skimming of the lesson
2	To comprehend part 1	Comprehension / Retelling
3	To comprehend part 2	Comprehension / Retelling
4	To comprehend part 3	Comprehension / Retelling / Discussion Practice; “What is Dresden like?”
5	To comprehend part 4	Comprehension / Retelling / Discussion: “If you were in their place, would you accept money from Great Britain?”
6	To comprehend part 5	Comprehension / Retelling / Discussion; “What can you do to make the world a better place to live in?”
7	To comprehend Lesson 8	Comprehension exercises B & C on page 134 / Discussion; “What does the author want us to learn from this lesson?”
8	Review	Drills on pages 136 & 137 / Lesson Test

Teaching Procedure:

Timing	Procedure and stage aims	Notes
3 min	I Warm-up	The teacher talks with the students. / The students talk freely.
15 min	II Comprehension (a) Fact-finding Q&A (b) Sharing answers Aim: intensive reading	Handout-1 (homework): The students have to finish all of the questions in five minutes at home. 1. The students share their answers. 2. The teacher provides feedback. He also elicits information in each paragraph from the students to help them summarize the content.
10 min	III Retelling	The students retell part 5, using the pictures in the handout.
20 min	IV Discussion - Aims: critical thinking and expressing or sharing ideas	The teacher asks the students the main point of part 5. The students start discussion and share ideas.
2 min	V Closing	The teacher assigns homework and closes the lesson.

図5 レッソンの全体計画と第5時のレッスンプラン（県立甲南高等学校実践例を基に作成）

6 まとめ

リテリングは、年間を通して計画的・継続的に行うことが重要である。リテリングを通して内容理解や表現の定着の高まりだけでなく、英語学習への前向きな取組も期待できる。話す活動や書く活動を通して、間違いに気付き修正を繰り返すことは、英語力の向上には不可欠である。それを級友との協働学習を通して行うことで、英語が苦手な生徒にとっては、間違えることへのストレスを軽減することができる。最終的には、教師による適切なフィードバックで、生徒の学習意欲を喚起できるよう、生徒の実態に応じてリテリングの活動を取り入れてほしい。

—引用・参考文献—

- 文部科学省『高等学校学習指導要領解説外国語編・英語編』平成22年5月
- 文部科学省『英語力調査結果』平成27年
- 文部科学省『英語教育改善のための英語力調査事業』平成29年3月
- 大修館書店『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導』平成24年9月
- 教育出版『アウトプット重視の英語授業』平成24年2月
- 研究社『英語で英語を読む授業』平成27年3月

（企画課 常山 隆光）